

ヨルヤノキ5

あまあま私服着衣ックス編

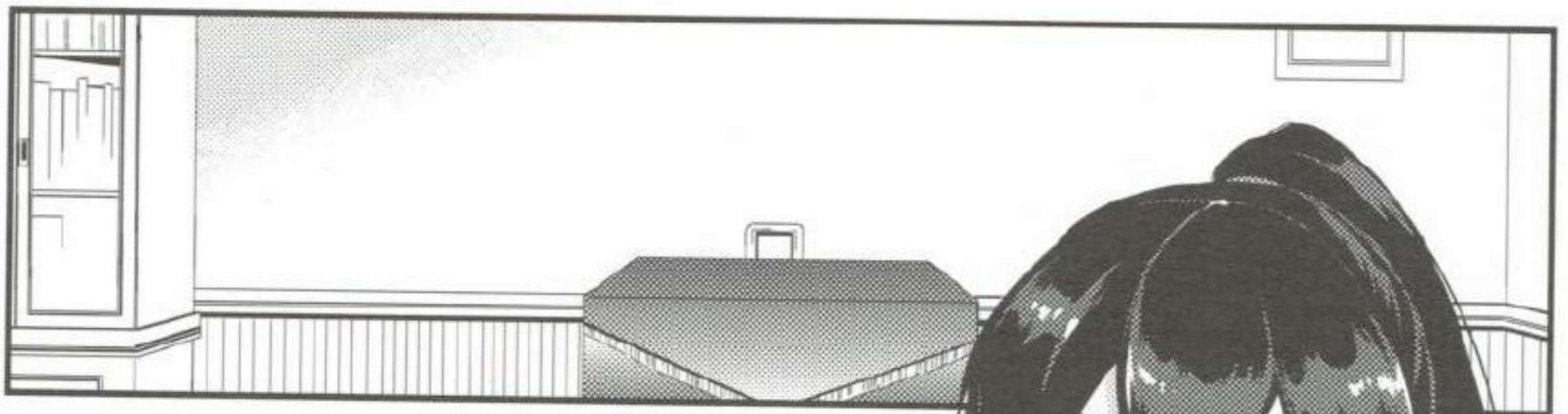


18
FOR ADULT



Attention

提督×秘書艦矢矧(ケッコン済)本です
純愛和姦です
シリーズ作品ですが、前作からの続編要素はありません





今日は
お姉さんたちと
出かけていると聞いて
いましたか
帰っていたのですね

ええ
さつきね



さつき書庫の束
抱えて
歩いとったよ

大女夫
大女夫

さつき書庫
手荷物

4階の書庫に
行ったんじや
ないかねえ



ねえ
あなたたち
提督がどこにいるか
知らないか

ああ
提督さんなら



それにしても
その格好、
男前じゃねえ

矢矧によお
似合つとるわ



そっか
ありがとう
行つてみるわ

うん





提督



楽しかったかい？
久々に
姉妹そろって
街に出かけるのは

ええ！



あれを食べたの
…えーと…
もちっとした
薄焼きの卵で
クリームとか
果物を巻いた…
…く、
くるくる…？

クレープ？



ああ、矢矧さん
おかえり
帰ってたんだね

ええ

…どうして
ここが？

さつき
浦風と浜風に
会って
教えてもらったの

そっか



ん？

…でも…



そうか
よかったね

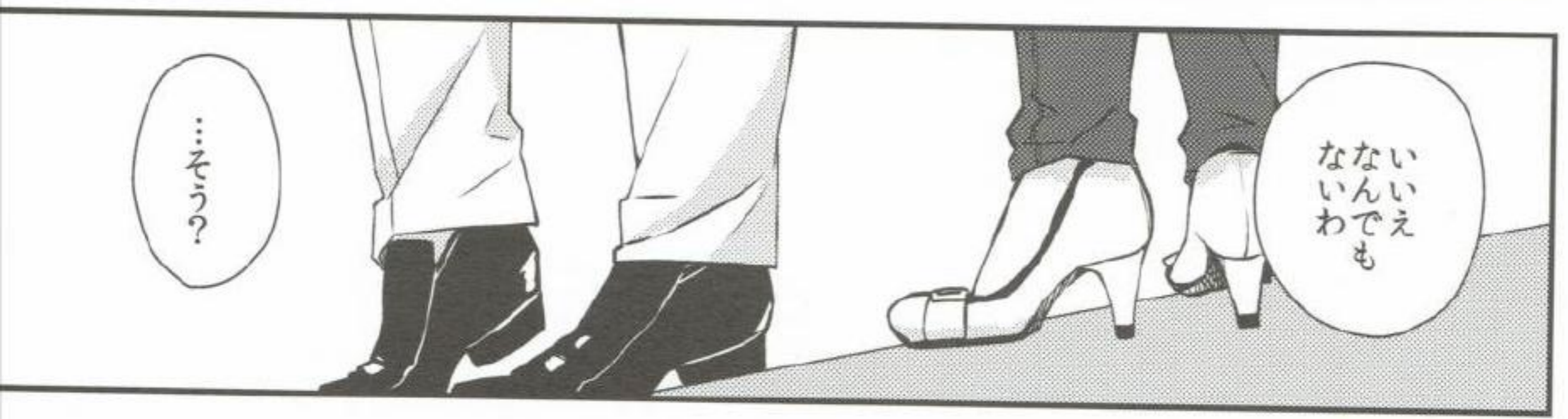
そうそう
それ！
みんな
食べたの
だけでも
美味し
かったわ

牛乳
チョコ
クリーム

クリーム
チョコ
チョコ

チョコ

チョコ



…そう？

いいえ
なんでも
ないわ



そうだ
街で
変な男に
声を
かけられ
たり
しな
かった？

…能代姉
えが…

やっぱり！
ああいう
「しつかり者です」
って顔
をして
隙だらけ
の子が
一番危
ないんだ
よ…

能代姉
…ああいう
しつかり者
です

能代姉

能代姉



安心して
あなたの代わりに
私がみんなを
守るから

能代姉に
絡んでた人も
きちんと
追い払って
おいたわ



頼もしいな

…でも



こんなに
可愛いんだから
見惚れる男も
そりやいるだろうよ
なかには
悪い男だって…

……かわ……？



君も十分
心配
なんだけどね…

なっ
なんでよ





いい気は
しないけど



それはない
絶対ない

あははっ

私よりずっと
提督のほうが
可愛いわ

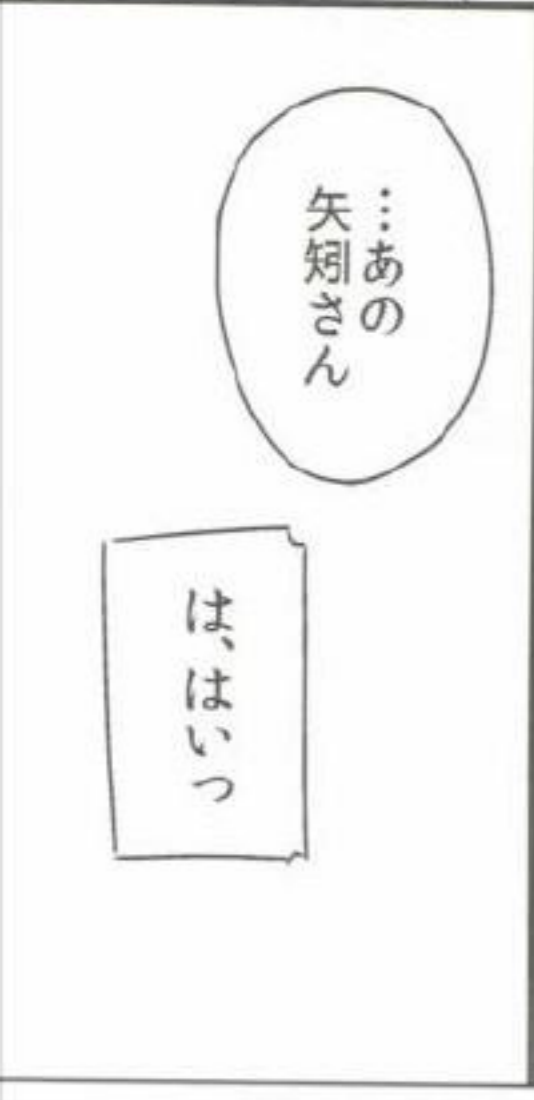
あははっ

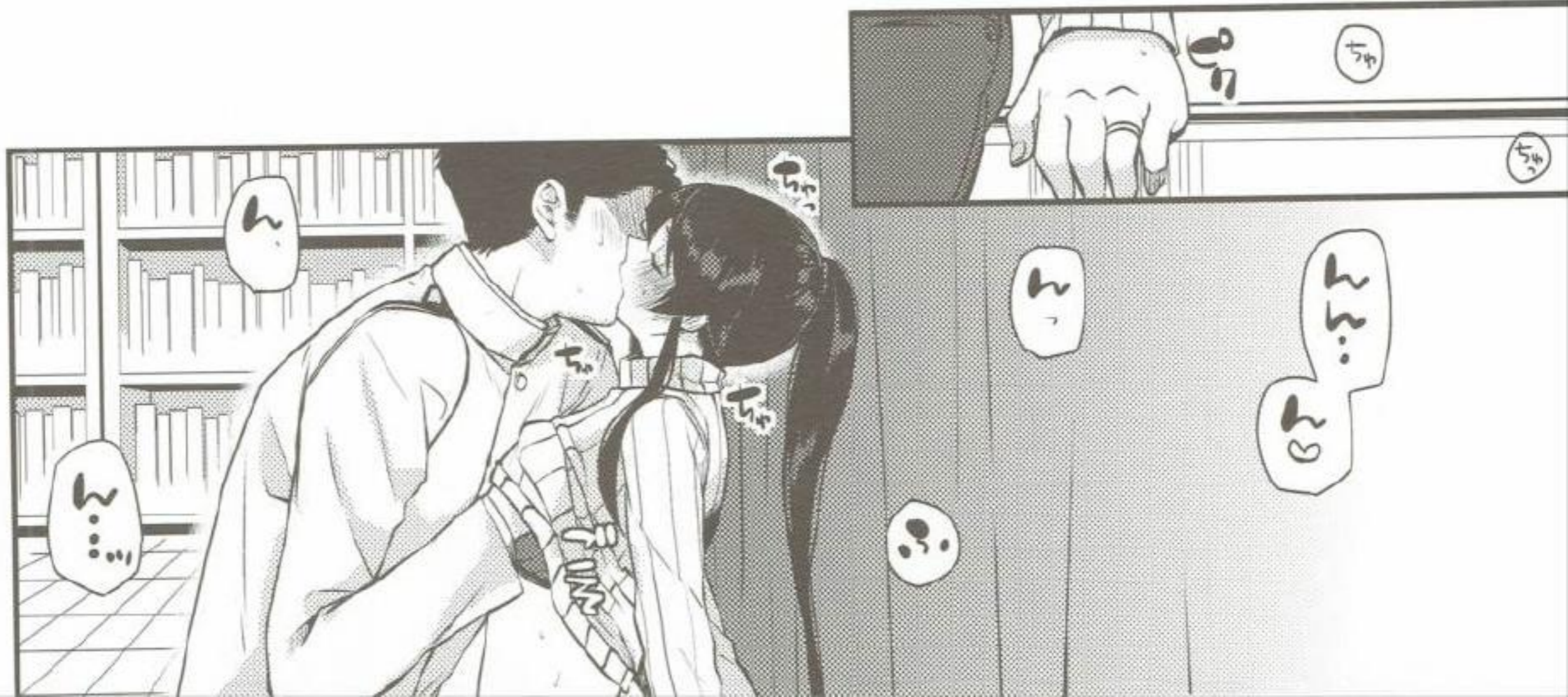


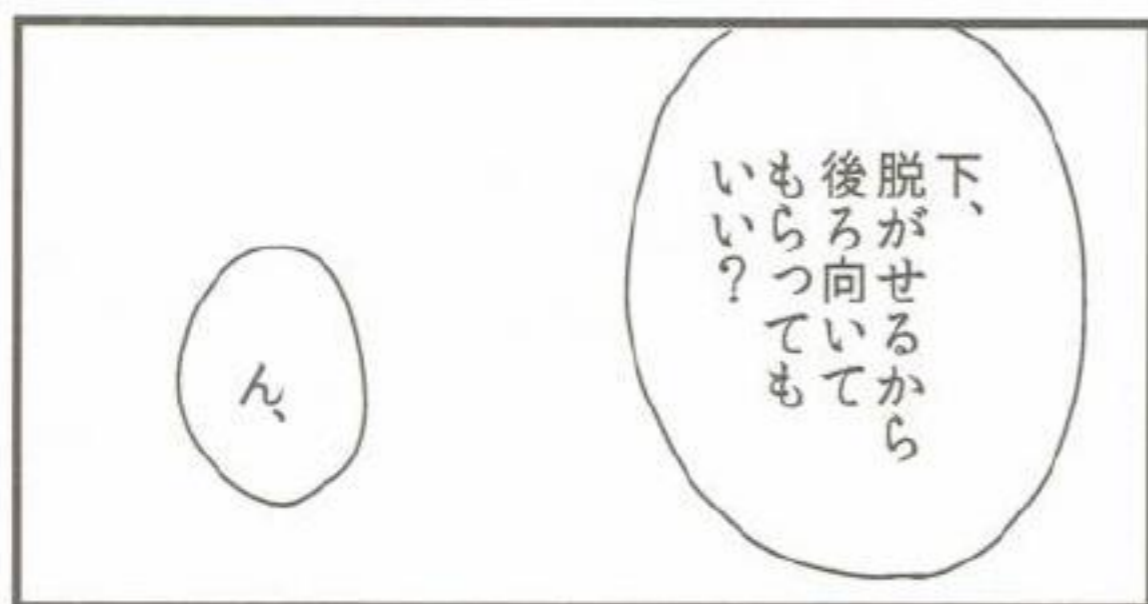
笑いす

...ん

つていうか君









触るね？

逐一確認を
とられるのは
恥ずかしい…

ん…っ

ちよつと
動かしただけで
すごい音…



指にねつとり
絡みついて
きて…



わたしも

挿れて
ほし…



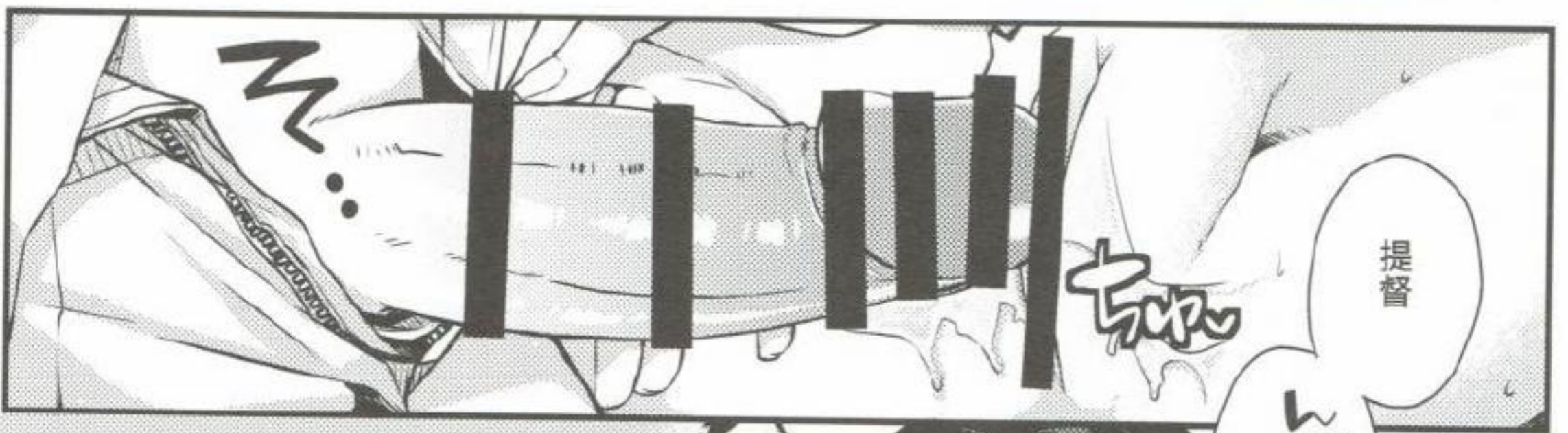
挿れなくなる



…わ、





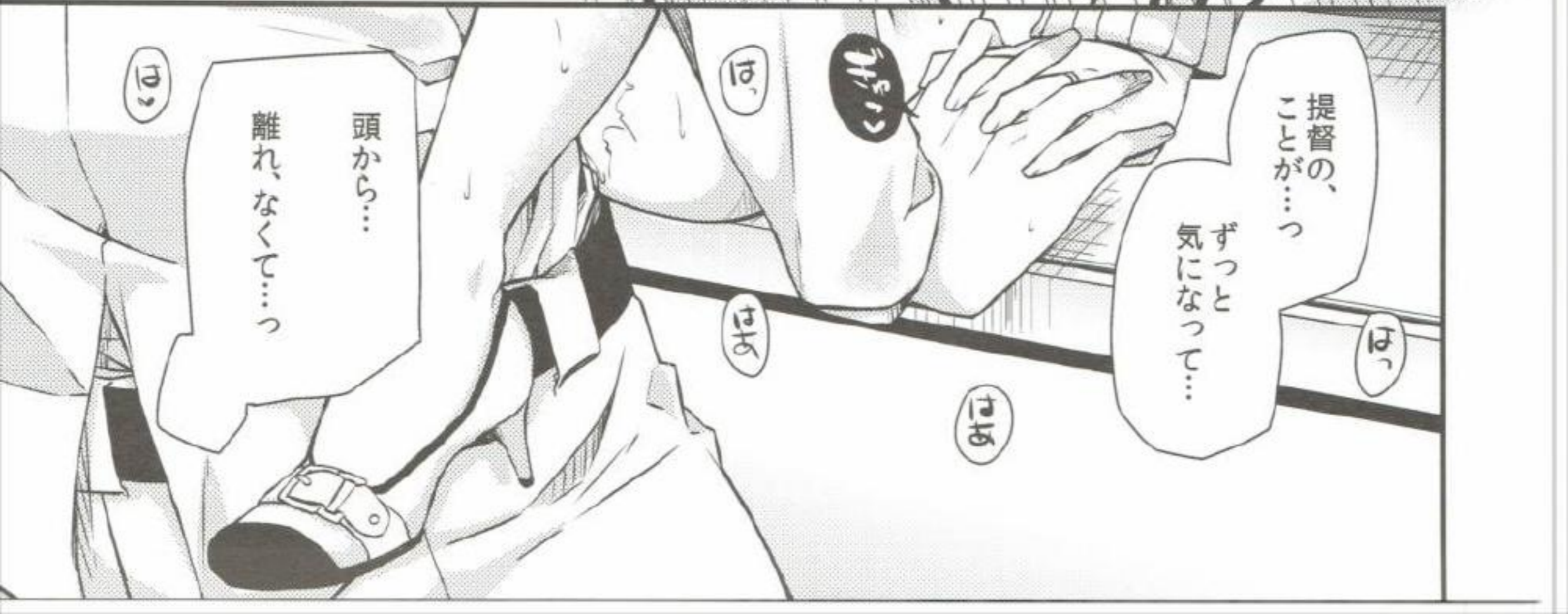




わ、わたし…
姉さんたちや
酒匂と
出かけてる、と…

楽しかった、

提…督…ッ



提督の、
ことが…っ
ずっと
気になって…

頭から…
離れ、なくて…っ





もう...声、我慢できないから、

き、キス、してらっほっ...っ

イキそう?

...んっ









抜けちゃった...





矢矧の冬の私服姿のむちむちの太ももを見て、
こんな半脱ぎ立ちバックで犯すしかないやん！
というわりと最低な動機で作り始めた本でした。

当初はもっと短めにすっきりまとめる予定だったんですが、
姉妹と出かけてるときも提督のことを思い出してくれたら最高だよなあとか
こんなにTHEイケメンな格好でも、提督の目にはかわいく
映っていたらいいなあとか、
いろいろ妄想をつめこめていたら結局いつも通りの感じ
になってしまいました。
拙い漫画ですが、少しでも楽しんでいただけたら幸いです。

矢矧フィーバーが落ち着かず、いつの間にか「ヨルヤハギ」も5冊めですが、
巻をかさねるごとに矢矧をちょっとずつエロくしているつもりで描いておまして、
と同時に提督に対するデレ度もちょっとずつアップしているつもりで描いております。
もし過去作もお持ちの方は、このことを頭の片隅にでも留めて読んでいただけたら
うれしいです。

すごくどうでもいい個人的な話ですが、ローソ●のクリア
ファイルは3件まわってようやく嫁と邂逅できました。
開始から1時間たらずでまさかの2件売り切れでした。
嫁は高嶺の花でした。
朝から歩いたりバスに乗ったり自転車で乗り付けたりと大変でしたが今となってはいい思い出です(笑)



私も私用で
ここを離れるのは
難しいし
君も忙しいから

具体的な
日取りはまだ
約束できないけど



休暇を
もらえるよう
頼んでみるから

どこか
行きたい
ところでも
考えておいて



ふっふっふ...

どこでもいいは
なしで



提督だって
食べたいものを
聞いたとき
いつも
「なんでもいい」って
言うじゃない

それと
これとは
話が別

君が私のために
頭を悩ませて
くれるのが
かわいから
なんでもいいと
言わざるをえない...





そうね
…でも

せつかくの
機会なし



本当に
どこでも
いいのに…



ゆっくり、
考えて…みるわ

ヨルヤノギ
あまあま着衣ックス編

2016.08.14 Rosapersica/一ノ宮
rosapersica@gmail.com
pixiv:1488600

無断転載・複製・ネットオークションへの出品、web上へのアップロードはご遠慮ください

印刷:トム出版様
いつもありがとうございます

